

泡遊びをしていた A ちゃんは、ボウルにできた泡をスプーンですくって容器に入れることを楽しんでいました。容器に入れると嬉しそうにずっと握りしめて遊んでいました。片付けの時間になっても握りしめていたので、保育者が「残しておく？」と問いかけると、「うん」とうなずきました。保育室に入り、遊びの振り返りの中で A ちゃんは容器に入った泡を友達に見せ嬉しそうにしていました。同じように泡で遊んでいた B ちゃんは「フワフワやった」と話したり、A ちゃんの泡を見て「ソフトクリームみたい」「わたがしみたい」などと思ったことを言葉にしたりしました。その日の降園時に、ふと A ちゃんの泡を見て B くんが「なくなった」と言いました。その言葉を聞いて友達が集まってきました。「あれ、泡が固まったみたい」「クモが来て食べちゃったんじゃない」「下にいった」「溶けたのかな」と思ったことをくちぐちに話していました。

子どもの育ちや学び



フワフワ～

ソフトクリーム
みたい

なくなった！

時間が経つと泡の様子が変わったことに気づき、泡の様子を見て思ったことを話す。
(気づき・発見・思ったことを言葉にする)

溶けたのかな

下にいった

クモが食べちゃったんじゃない

なんで？

固まったみたい

泡をスプーンですくって入れる。
(感触を楽しむ・集中している・いっぱいになるまで入れたい)

容器に入れた泡を片付けずに残しておきたいと思った。
(自分の大切な物・愛着)

保育者の思い

- ・泡の感触を味わいながら、スプーンで泡をすくって容器に入れる様子を見守りたいと思いました。
- ・片付けの時間になっても大切に握りしめている姿を受け止め、保育室に持ち帰りました。A ちゃんのつくった泡をみんなで見たことで、泡遊びをしていない子も興味をもっていました。
- ・B くん「なくなった」の言葉から、みんなで泡を見たり、思ったことを言葉にしたりすることで、泡の変化に気づき不思議さや面白さを感じてほしいと思いました。また、思ったことを自分なりの言葉で表現できる時間を大切にしたいと思いました。

お家の方へ

「こんなこと思った!」「聞いて聞いて!」と自分の思いや感じた事を自分なりの言葉で伝えようとする姿は、その子らしさがいっぱい詰まっています。大人にはない豊かな感性や感じ方に出会えるかもしれません。